



下松高校美術部による笠戸島家族旅行村のウォールアート制作

目次

● 12月定例会について	2	● 行政視察報告について	15
● 令和4年度会計決算認定について	4	● 職場体験の受け入れについて／今後の議会予定	
● 一般質問（12月定例会）	7	／編集後記	16

……12月定例会上程議案……

全会一致で可決された議案

予算	一般会計補正予算（第5・6・7号） ◀ P3参照	
	国民健康保険特別会計補正予算	
	介護保険特別会計補正予算	
条例改正	市議会議員及び市長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例一部改正	
	家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例一部改正	
	特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例一部改正	
	放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例一部改正	
	職員の給与に関する条例等一部改正	
	市長等に対する期末手当の支給に関する条例一部改正	
	国民健康保険税条例一部改正	
4年度決算認定	水道4事業（水道、工業用水道、簡易水道、公共下水道）会計決算	
	国民健康保険特別会計決算	P5参照
	後期高齢者医療特別会計決算	

12月定例会



令和5年第7回市議会定例会は、12月6日から12月20日までの15日間の会期で開催されました。主な審議内容について、掲載しています。

その他の議案（全会一致）

諮問	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて
その他	笠戸島ハイツ解体工事請負契約の一部を変更する契約の締結について
	市道路線の認定について
	指定管理者の指定について

賛成多数で可決された議案

条例制定	財政状況の公表に関する条例◀ P2参照
条例改正	市議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例一部改正◀ P3参照
4年度決算認定	一般会計決算◀ P4参照
	国民宿舎特別会計決算◀ P4参照
	介護保険特別会計決算◀ P6参照

こんな意見が出ました。

《反対意見》

田上茂好 従前の条例では、当初予算や決算の公表について、具体的に規定されているが、本改正案では規定されていない。市財政の公表はさらに積極的に行い、市民の理解を図る必要がある。

渡辺敏之 従前の条例で4月と10月の公表となっていたものを、結果として6月末と12月末に先送りもできる規定にしている。そのことについて納得できる答弁は得られなかった。

《賛成意見》

堀本浩司 財政状況の公表について、社会情勢に応じた方法による公表を可能とし、天災が発生した際の規定の整備等を行うものであり、範囲や方法、媒体の幅を広げるものであるため賛成する。

松尾一生 本条例は、(1)年2回の公表対象期間・公表時期の明示(2)「その他市長が必要と認める事項」を公表範囲に追加(3)広報以外の公表方法の追加など、従前の条例と比べて一歩も二歩も前進した内容となっている。

財政状況の公表をデジタルでも

〈賛成多数で原案可決〉

財政状況の公表について、現在の条例から(1)紙の広報に限られていたものを、ホームページ等でも併せて公開できる規定(2)公表時期を6月末と12月末に設定し、災害等発生時には時期を遅らせることができる規定に全部改正する条例が上程され、賛成多数で原案可決となりました。

〈議案第59号〉財政状況の公表に関する条例

磯部	永田	中谷	中村	松尾	三浦	森	山根	浅本	近藤	藤井	堀本	柳瀬	田上	渡辺	木原	斉藤	村田	守田	採決の結果
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	欠	○	○	○	賛成○ 反対× 欠席欠
(議長は表決に加わらない)																			

米川地域づくり拠点施設用地購入
物価高騰による家計急変世帯支援ほか

〈全会一致で原案可決〉

補正予算ピックアップ

米川拠点施設用地購入

○米川地域づくり拠点施設建設事業費

[補正額 1,320 万円]
測量により登記簿面積より購入面積が増加
面積:5,841 m²→6,619 m²

〈企画総務委員会 質疑〉

議員 米川地域づくり拠点施設建設の今後のスケジュールは。

市 今年度用地買収を終え、令和8年度に建設工事を行う予定としている。

補正予算ピックアップ

給食センター洗浄機購入

○中学校給食センター管理運営費

[補正額 5,990 万円]
老朽化に伴う
システム洗浄機の更新



〈企画総務委員会 質疑〉

議員 中学校給食センターのシステム洗浄機について更新時期は。

市 給食の提供に影響が出ないように、7・8月の夏休み期間を予定している。

補正予算ピックアップ

物価高騰による給付事業

○物価高騰対応重点支援給付金給付事業費

[補正額 3 億 7,637 万円]
令和5年度の住民税非課税世帯及び家計急変世帯等に1世帯当たり7万円を支給する。

〈本会議 質疑〉

議員 家計急変世帯の見込みはどうか。

市 50世帯を見込んでいる。

議員 給付のスケジュールはどうか。

市 最短で1月末頃の振込を予定している。

改正前

3.3月

改正後

3.4月

どのように変わるの?



国家公務員の給与改定方針に準じ、市議会議員の期末手当の支給月数を改定する条例が上程され、賛成多数で原案可決となりました。

市議会議員の期末手当の支給月数を改定
〈賛成多数で原案可決〉

〈議案第93号〉下松市議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正する条例

〈反対意見〉

田上茂好 職員の給与は毎日の労働を支える生活給であるが、議員の報酬や手当等は人事院勧告に準じなければならないとは言えない。議会として議論していくことが必要であり、安直な対応は避けるべきである。

磯部	永田	中谷	中村	松尾	三浦	森	山根	浅本	近藤	藤井	堀本	柳瀬	田上	渡辺	木原	斉藤	村田	守田	採決の結果 賛成 ○ 反対 × 欠席 欠 (議長は表決に加わらない)
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	欠	○	○	○	

令和4年度会計決算の認定について

企画総務委員会

- 一般会計決算審査
- 国民宿舎特別会計決算審査

令和4年度一般会計決算は歳入総額約253億円、歳出総額約241億円、繰越財源を引いた実質収支は約8億6千万円の黒字



一般会計 質疑

議員 市立保育園の今後の運営方法はどのように考えているか。

市 現在、市立保育園は2園あるが、民営化を進め1園のみを残す計画である。しかし、待機児童の問題もあるため、当面は現状の体制を維持する。少子化が進んだ際には、見直しも必要と考える。

議員 豊井地区まちづくり整備事業の令和4年度の状況はどうであったか。

市 令和4年度は課を新設し、体制を強化してきた。事業も前倒して加速的に実施できている。

国民宿舎特別会計 質疑

議員 国民宿舎大城の修繕料や備品購入費等を市が負担する場合の規定は。

市 契約には20万円以上は市が負担するという規定があるが、疑義のある場合には指定管理者と市の協議で決定することになる。

本会議へ

こんな意見が出ました。

《反対意見》

田上茂好 下松児童の家3・4の建設などは評価するが、実質収支比率は高くなっている。市民の要望に応えるような更なる施策の実施が可能であったのではないか。公共交通政策の遅れや会計年度任用職員多用は改善すべきである。

《賛成意見》

磯部孝義 継続的なコロナ対応の中、高規格救急車更新、児童の家開設、学校のトイレ改修や特別教室への空調設置など、全体的には総合計画で示された主要課題(防災、子育てや教育環境等)を意識した事業が進められたと認識し、賛成する。

磯部	永田	中谷	中村	松尾	三浦	森	山根	浅本	近藤	藤井	堀本	柳瀬	田上	渡辺	木原	斉藤	村田	守田	採決の結果
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	欠	○	○	○	賛成 ○
																			反対 ×
																			欠席 欠

(議長は表決に加わらない)

〈賛成多数で原案可決〉
**防災・子育て・教育環境等
 主要課題に対応**

〈認定第5号〉令和4年度下松市一般会計決算の認定

こんな意見が出ました。

《反対意見》

田上茂好 この特別会計は大城の収支を明らかにした会計にする必要がある。また、緊張感をもった運営を継続するためにも、利用料金制をやめ、収受代行制などを採用し、売上金を公金(税金)として維持すべきである。

《賛成意見》

松尾一生 歳入に規定どおりの納付があり、歳出は各所点検修繕、樹木伐採など適切な支出である。笠戸島開発センターは人事を一新し、これまでの経験を踏まえた適切な運営を目指している。これからもみんなで大城を応援したい。

磯部	永田	中谷	中村	松尾	三浦	森	山根	浅本	近藤	藤井	堀本	柳瀬	田上	渡辺	木原	斉藤	村田	守田	採決の結果
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	欠	○	○	○	賛成 ○
																			反対 ×
																			欠席 欠

(議長は表決に加わらない)

〈賛成多数で原案可決〉
**経験を踏まえた適切な
 運営に**

〈認定第9号〉令和4年度下松市国民宿舎特別会計決算の認定

建設環境委員会

- 一般会計決算調査
- 水道・下水道企業会計決算審査
- 国民健康保険特別会計決算審査
- 後期高齢者医療特別会計決算審査



一般会計 質疑

議員 宅地耐震化推進事業の内容は。安全性は明らかになったのか。

市 宅地開発等で大規模に盛土した土地が、地震時に地滑りを起こさないための調査や工事をするものである。今回は危険・安全の判定ではなく、着手の優先順位について調査を行った。

議員 マイナ保険証が利用できる市内の医療機関はどれくらいあるのか。

市 市内の医療機関の8割以上が読み取り機の申請を済ませているものの、機械自体の設置がまだという病院もある。

議員 野犬については苦情も多いが、頭数はどうなっていると考えているか。

市 野犬の頭数は減少傾向であり、苦情についても減ってきている。



国民健康保険特別会計 質疑

議員 コロナ禍における受診控えの影響により医療費は減少傾向にあったが、訪問看護療養費は増加している。どう捉えているか。

市 コロナの影響はここ数年非常に大きく出ているが、自宅で訪問看護を受ける医療ニーズは一定程度あり、それが訪問看護療養費の伸びにつながっているのではないかと分析している。

水道事業会計 質疑

議員 今後、利益の減少も見込まれるが、水道料金は維持できるのか。値上げの考えはあるのか。

市 人口減少、節水型社会の進展等も考慮し、施設の更新、改修を計画的に行っていく。収支の均衡等を勘案して、それらが現在の水道料金で賄うことができないということになれば、その事業計画に見合った適切な料金を検討する。

本会議へ

こんな意見が出ました。

《反対意見》

田上茂好 この制度の加入者は、所得ゼロが5割を越えるなど経済的に厳しい人が多く、慢性疾患、複数の疾患など病気の特長にも違いがある。保険料の増加で受診抑制や中断が起こる心配がある。老人福祉法の趣旨に沿った制度の実現を求める。

《賛成意見》

柳瀬秀明 窓口業務等の真摯な対応で、収納率99.81%と、前年度に続き13市中1位の高い収納率となっている。高い収納率に裏打ちされた安定的な運営であり賛成する。



磯部	永田	中谷	中村	松尾	三浦	森	山根	浅本	近藤	藤井	堀本	柳瀬	田上	渡辺	木原	斉藤	村田	守田	採決の結果 賛成 ○ × 欠 反対 ○ × 欠 欠席 ○ × 欠 (議長は表決に加わらない)
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	欠	○	○	○	

県内最高の収納率で安定的運営
賛成多数で原案可決

〈認定第8号〉令和4年度下松市後期高齢者医療特別会計決算の認定

福祉教育委員会

- 一般会計決算調査
- 介護保険特別会計決算審査



一般会計 質疑

- 議員** 保育士トライアル雇用補助について、ここ数年実績ゼロが続いているがどうか。
- 市** 保育士トライアル雇用補助は、保育を担う人材の確保を目的に実施している。平成30年に1人が利用し、その後実績はないが、今後事業者にも周知をしながら利用が増えるよう努力していく。
- 議員** 給食の賄い材料費が1食あたり、小学校で5円、中学校で4円程度超過しているが、給食費で足りない分は公費で充当している状況なのか。
- 市** 現在、小学校が1食255円、中学校が1食305円となっている。食材費高騰による超過分は国からの地方創生臨時交付金を充当している。
- 議員** 民生委員の成り手不足が課題となっているが、令和4年度の本市の状況はどうか。
- 市** 現在117名の定員に対し、欠員3名となっており、周りの方にもカバーしていただいている状態である。



介護保険特別会計 質疑

- 議員** 認定調査員の人数は当初9名の予定であったが、結果的に8名体制であった。令和4年度の認定調査の状況はどうか。
- 市** 令和4年度は、前年度に比べて認定調査件数も増えたこともあり、遠隔地等における認定については、委託等を行うことで対応した。
- 議員** 令和4年度介護サービス全体において、給付費の状況はどうか。
- 市** 給付費の実績は、計画値と比べ、施設サービスが86.1%、在宅サービスが88.4%であった。給付実績があまり伸びていないのは新型コロナウイルス感染症の影響が大きいと推測している。

本会議へ

こんな意見が出ました。

《反対意見》

渡辺敏之 介護保険特別会計には、基金が4億8千万円以上あり、令和4年度取支も2億2千万円以上の黒字であった。生活に余裕のある被保険者ばかりではないことから、基金の積立額に目安を設け、介護保険料の負担が必要最小限となるような運営でなければ、被保険者の納得は得られない。

《賛成意見》

柳瀬秀明 介護保険料の収納率は99.5%と高く、県内でも高い水準で維持できている。そのことが、介護・予防サービスの安定した提供につながったと理解し賛成する。



磯部	永田	中谷	中村	松尾	三浦	森	山根	浅本	近藤	藤井	堀本	柳瀬	田上	渡辺	木原	斉藤	村田	守田	採決の結果
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	欠	○	○	○	賛成 ○
																			反対 ×
																			欠

(議長は表決に加わらない)

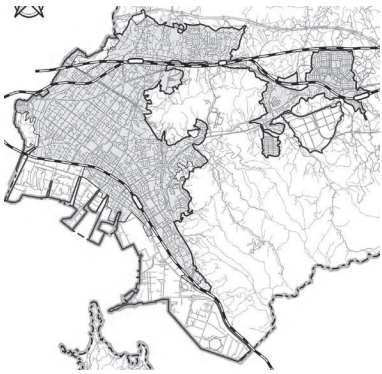
提供 介護・予防サービスの安定した
賛成多数で原案可決

〈認定第7号〉令和4年度下松市介護保険特別
会計決算の認定

令和5年12月定例会一般質問

一般質問は、12月12日、13日、14日の3日間で行われ、14人の議員が市政全般にわたる諸問題について質問をしました。

質問日	質問者	質問項目	掲載ページ
12月12日 (火)	やまね えいこ 山根 栄子	1 下松市立地適正化計画（素案）を受けて今後の都市計画を問う。	8ページ
	ながた のりお 永田 憲男	1 国井市政の2期8年について 2 高齢者に優しいまちづくりについて	
	こんどう やすお 近藤 康夫	1 国井市長の3選出馬の意志を問う。 2 「内からも外からも愛される下松市」にするための手立てについて 3 下松市地域公共交通計画に付け加えるべき課題について 4 市内企業による半導体製造装置の新製造棟建設（約245億円）とその稼働に伴う影響について	9ページ
	さいとう こ 斉藤マリ子	1 下松市における不登校児童・生徒の実情と対応について 2 中学校部活動の地域移行について	10ページ
	たがみ しげよし 田上 茂好	1 介護保険料の引き下げについて 2 地域公共交通計画の拡充について 3 市民の暮らしと営業を守る施策について	
12月13日 (水)	ほりもと ひろし 堀本 浩司	1 下松市制施行85周年の取組や考え方について 2 中学校部活動の地域移行について 3 生きづらさを抱える子ども達への対応について	11ページ
	みうら てつや 三浦 徹也	1 中学校部活動の地域移行について 2 下松ブランド魚について	
	あさもと てるあき 浅本 輝明	1 地域のポテンシャル発掘による観光振興について 2 公民館からコミュニティセンターへの移行について	12ページ
	もりた あやみ 守田 文美	1 下松市「食」の自立支援事業廃止について 2 下松市多機能複合型スポーツ施設整備基本構想（案）及び下松市体育施設（下松市温水プール・市民武道館）について	
	わたなべ としゆき 渡辺 敏之	1 中学校の部活動を地域に移行することについて 2 タブレットを活用するICT教育について	
12月14日 (木)	やなせ ひであき 柳瀬 秀明	1 下松市の人口増への取組について 2 高齢者や障がい者への情報の環境整備について	13ページ
	なかむら たかゆき 中村 隆征	1 徳山下松港国際物流ターミナル整備事業の工期延長の現状と今後の展望について 2 旧花岡保育園跡地利用に関する今後の対応について	
	もり りょうすけ 森 良介	1 地域包括ケアシステム構築について 2 高齢者等世帯に対するごみ出し支援について	14ページ
	いそべ たかよし 磯部 孝義	1 「未来へつなぐ」2024年度（令和6年度）以降の事業展開について	



市街化区域内の居住促進区域を示した図

問 (1)なぜ今この計画が必要なのか。
(2)この計画では、図に示す居住促進区域について、現状の人口密度39.5人/haを22年後も維持する目標としている。人口減少社会において都市機能を中心地に集約していく一方で、計画区域外に新たな規制が生じるということはないか。



山根 栄子

(鐵)

下松市立地適正化計画を受けて今後の都市計画を問う

立地適正化計画は市民の居住や移転の自由を奪うのか？



(2) 計画区域外に新たな規制は生じないが、建築内容によっては計画の動向を把握するため届出が必要となる場合がある。

また、まちづくりと公共交通の連携が重要と考える。この計画策定は、国からの補助率にも有利に働くことから、該当する事業のさらなる進展が期待され、住み良いまちづくりにつながるものとする。

答

(1) 人口減少の到来を踏まえ、医療・福祉・商業などの生活利便施設の減少が懸念されることから、施設を維持し持続可能なまちづくりを目指すため、本計画の策定に取り組んでいる。高齢者をはじめとする市民が自家用車に過度に頼ることなく、公共交通により生活利便施設を利用するためには、まちづくりと公共交通の連携が重要と考える。この計画策定は、国からの補助率にも有利に働くことから、該当する事業のさらなる進展が期待され、住み良いまちづくりにつながるものとする。



問 國井市長の2期8年間は、平成30年の7月豪雨災害や、世界中で大流行した新型コロナウイルス感染症との闘いであったと考えるが、当時を振り返ってどうか。また、その社会背景の中で、公約に掲げられた項目は、成し遂げられたか。そして、新しいまちづくりについてどのように考えているか。

公約に掲げた政策は成し遂げられたのか？



永田 憲男

(新生クラブ)

國井市政の2期8年について



これらの施策・事業を展開する上では財源確保が重要であり、今後も持続可能な行政運営を堅持し、先人が築き上げてきたこの下松を確実に将来の世代へつなぐため、「住みよさを実感できるまち くだまつ」を実現するために努めていきたい。

公約については「逃げ遅れゼロ」や「待機児童ゼロ」など、様々な施策や地域課題の解決に取り組んできた。特に魅力づくりにおいては、公式マスコットキャラクターくだまの誕生、道路を走る高速鉄道プロジェクト、クルーズ船初寄港といった下松ならではの資源を活用した官民連携のまちづくりを進めてきた。

答

2期8年を振り返ると、まずは豪雨災害や新型コロナウイルス感染症との闘いに陣頭指揮を取り、市民の生命と財産・健康を守ることを最優先に「オール下松」でこの未曾有の事態を何とか乗り越えることができたことが思い起こされる。



近藤 康夫

(政友会)

国井市長の3選出馬の意志を問う

問 2期8年間の国井市政の自己評価について尋ねる。また、残された課題は、何か。

答 2期8年間の自己評価については、豪雨災害や新型コロナウイルス流行に直面する中、安全・安心対策や産官民によるまちづくりの推進、行財政改革に取り組んだ。子育て支援では、ことも未来部を創設し、子ども医療費の全額助成を高校生までに拡充することを決断した。また、トップセールスにより半導体製造装置を生産する工場増設など企業誘致に繋がった。天王森古墳の形象埴輪群は、本市の歴史・文化を代表する市民の宝として大きく期待しており、今後、専門員を配置し、学術的価値を高めることで、下松の誇りとなるものと考えている。残された課題は、人口減少対策

であり、集中強化指針に基づき、機動的かつ戦略的に対策を講じていく。

問 尊敬する政治家や経営者は、誰か。また、その理由について問う。

答 市職員として勤務していた間の4人の市長である。山中市長は、高度経済成長期の方向性を、藤田市長は、財政再建の下松のかじ取りを、河村市長は、下松タウンセンターの建設に尽力され、井川市長は、合併という難題を解決された。それぞれ時のリーダーとして、その手腕を発揮された方で、尊敬している政治家である。

私は、今後も、先人たちから学んだ教訓を市政運営に反映しつつ、引き続き「住みよさを実感できるまち」の実現に向けて尽力してまいりたいと考える。

龍が昇るが如く、一段と飛躍するまちに!



増加する不登校児童・生徒の対応について



斉藤マリ子

(無所属)

問 (1) 全国30万人近くの不登校児童・生徒のために、令和5年3月COOLOPラを文科省が打ち出した。下松市でも不登校児童数は5年で約2倍に増加している。なぜ、不登校が増加しているのか。

答 (1) 本市の令和4年度の不登校児童生徒数は小学生36人、中学生133人と増加傾向にある。その要因としてはコロナ禍の影響に加えて、無気力や不安、生活リズムの乱れ等が多くなっており、喫緊の課題と認識している。

(2) 欠席した生徒に1. 電話連絡2. 家庭訪問3. チーム対応という「心をつなぐ1・2・3運動」を実施し、不登校の未然防止に努めている。希望の星ラ

ウンジやステップアップルーム等の多様な学びの場を確保し、個に応じた学習活動や、通室生同士のふれあい活動を行っている。職場体験は主体的な進路選択や社会的自立の一助としても行う意義は大きいと捉えている。

中学校部活動の地域移行について

問 (1) 中学校部活動の地域移行の手續やプロセスについて、市の考えを問う。

答 (1) 地域移行の手續やプロセスは、地域クラブの活動の受皿となる団体や、指導者の形態により様々であり、本市における地域クラブ活動の目指す姿や要件を定め、できるだけ早い時期に登録の手續ができるよう体制づくりに向けて準備を進めている。

(2) 生徒の多様なニーズに応じた活動が、地域において継続して実施できるようにすることがメリットと考える。

(3) 学校部活動が地域に移行した場合、時間的な負担が軽減され、教員の働き方改革につながるかと考える。

下松市における不登校児童・生徒の実情と対応について





田上 茂好

(日本共産党)

黒字決算を続け基金は蓄積

問 介護保険料は3年ごとの介護保険事業計画に基づいて決定されているが、過去12年間毎期ごとに値上げをし続けており、その額は県内でトップである。一方、介護保険事業の財政状況は、平成27年度以降は毎年黒字決算になっており、その結果、介護給付費準備基金は5億円にもなろうとしている。そこで、最低限必要と認める額を除いて基金を取り崩し、介護保険料の引き下げに活用すべきと考えるがどうか。

答 介護給付費準備基金の目的は、想定以上の急激な介護給付費の歳出が生じた場合等に保険料を値上げせず、円滑な財政運営を行うためのものとされており、決算収支が黒字の年度は翌年度に繰り越し、基金に積み立てている。今後も高齢者数が増加していくことから、介護給付費は増大

介護保険料の引き下げは十分可能



問 高齢者等の移動弱者が一番困っていることは何なのかを考えなければならぬ。デジタル化は大切だが、公共交通機関を利用しづらい人達への対策が重要である。市民の足元へ交通機関を近づけることが求められているが、どのような方法で進めるのかを問う。

答 公共交通の維持確保と高齢化の進展による移動手段の確保が大きな課題である。今年度は笠戸島地区において、デマンド型乗合タクシー実証実験を行う。今後、交通事業者等と意見交換を行いながら、本市の実情に沿った公共交通の構築に鋭意取り組んでいく。

市内公共交通の充実は待ったなし

していくことが見込まれる。次期計画の介護保険料については、基金を有効活用して急激な値上げにならないよう慎重に検討し決定する。



堀本 浩司

(公明党)

中学校部活動の地域移行について

問 部活動はスポーツや文化芸術活動などを通じた学びの場として子供たちの健全育成に大きな役割を担う。地域移行を円滑に進めるために、学校と地域の調整に当たるコーディネーターの配置、地域団体の運営費助成、指導者の配置と養成、困窮家庭の経費の負担、アドバイザー事務局の設置について考えを問う。

答 国や県の方針を踏まえ、3年間を移行推進期間とし環境整備に向けた取組を進めている。実施主体への助成、適切な指導者の確保、困窮家庭の経費負担など新たな地域クラブ活動を展開していく上で、課題は数多くあり、持続可能な運営のために、支援が必要なことは承知している。こうした課題に対応する体制づく

生きづらさを抱える子供たちの対応について

スクリーニングシステムの活用について

くりとして、学校と地域との調整役となるコーディネーターの配置について準備を進めている。さらに、実施主体を統括する運営団体を設置・連携し、様々な面からサポートしていく環境づくりについて、調査・研究を進めていく。

問 生きづらさを抱える子供たちに対応するスクリーニングシステムは、SSW(スクールソーシャルワーカー)や生徒指導、特別支援教育コーディネーター、管理職、SC(スクीलカウンセラー)等が、複数の視点からその子供に適した対応を考えることができる。改善効果や問題の未然防止、早期の対応が可能なることから導入の考えを問う。

答 児童生徒が抱える様々な悩みに気づき、適切に対応していくことは大変重要であると認識している。ささいなことでも気になることがあれば校内支援委員会や生徒指導のケース会議等で複数の教員によって協議を行い、場合によってはSC、SSW等の専門家の意見も聞きながら適切な支援につなげている。



三浦 徹也

(新生クラブ)

中学校部活動の地域移行の今は？

問 現在の進捗状況と今後のスケジュールについて問う。

答 10月に地域スポーツの関係団体の方と中学校区ごとに意見交換会を開催し、諸課題など様々な意見の共有ができた。現在は地域の実情に応じた移行のための推進プランを策定する準備を進めている。実施主体を統括する運営団体については、運動部は一般財団法人下松市施設管理公社を、文化部は公益財団法人下松市文化振興財団を考えている。今後も引き続き地域や学校と連携し、環境づくりに向けた取組を進めていく。

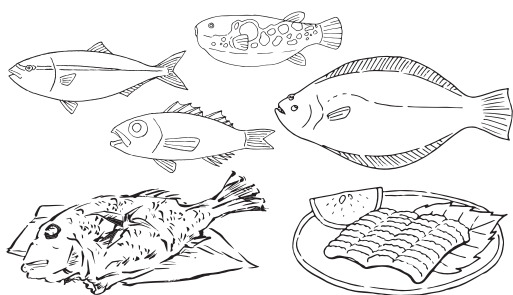


中学校部活動の地域移行について 下松市ブランド魚について

下松市産の魚のブランド化で交流人口の拡大を！

問 下松市産の魚の消費拡大や、魚を用いた交流人口増加のために、魚のブランディングが必要であると考えますが、見解を問う。

答 下松市栽培漁業センターでは笠戸ひらめ、笠戸のとらふぐ、笠戸のさば等を養殖しており、技術の更なる向上のため、試験研究を行っている。今後もセンターの機能を最大限活用し、つくり育てる栽培漁業を推進するとともに、県内外への情報発信を継続することで、交流人口の拡大と地域経済の活性化を図りたい。



広域遺跡群サミットについて、道の駅の登録・設置について

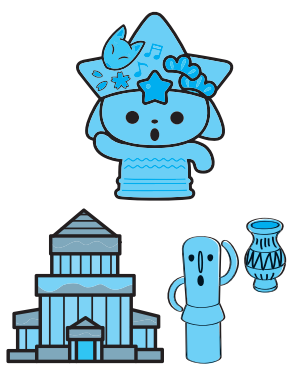


浅本 輝明

(政友会)

問 (1) 近隣地域と古墳ネットワークを構築して文化財保護意識の高揚、近隣地域との交流や全国の古墳ファンに紹介する広域遺跡群サミットの開催をしようか。

(2) 道の駅は、地域産物の販路拡大、休憩機能、情報発信機能、地域連携機能を持つ。地域経済活性化のために道の駅を設置し、第6次産業を育成支援する考えを問う。



地域の観光振興と公民館について

答 (1) 西日本有数の形象埴輪群が出土した天王森古墳のような、古代からのロマンを感じさせる史跡に関連した古墳時代の広域遺跡群サミットの開催や、歴史あるきつねの嫁入りの全国展開などはさらなるシテイプロモーションにつながる可能性があると考えます。地域間交流の促進については、本市の新たな魅力の発掘や観光資源の活用を検討する中で参考にしていきたい。

(2) 道の駅設置の計画は現在ないが、本市の賑わい創出に向けた機能について検討をしていきたい。

公民館の予約申請について

問 公民館を使用する場合は事前の申請が必要であるが、土日休日には受付をしておらず、予約ができない。誰もが利用しやすいように、ネットでのオンライン予約申請の整備が必要ではないか。

答 本市では、DX推進計画に基づき、行政手続のオンライン化に取り組んでいる。公民館や体育施設等でもオンラインで予約申請ができるように前向きに検討をしていきたい。



守田 文美

(無所属)

高齢者等在宅支援事業「配食事業」廃止について

問 本市では在宅高齢者等の支援として配食事業を行っている。自己負担額400円～500円で利用でき、支援対象者は買い物や調理が困難で、介助が必要な状態にあり、家族からの援助が見込めない人である。この事業を令和6年3月末で廃止すると発表されたが、セーフティネットである本事業をなぜ廃止するのか。継続できないのかを問う。

答 本事業開始後、介護保険制度が始まり、民間の宅配給食事業者も増えたことから、本事業の役割は果たせた。今年度で事業は廃止するが、次年度以降の新たな事業展開を図るべく鋭意検討を進めていく。



高齢者向け配食事業廃止 温水プール・武道館の今後

新温水プール、総額いくらかかるのか

問 多機能複合型スポーツ施設整備基本構想案が公表された。温水プールの他に柔道場・剣道場・弓道場も複合し、令和10年度中の完成を予定している。他方で本市の人口は令和2年から減少し、20年後には現在から20%減の4万5782人となり、財政は厳しくなる見通しである。また、周南市も令和8年に大規模な屋内温水プールを開業予定である。このような状況下において、新温水プールの概算費用、集客をどのように見込んでいるかを問う。また、立地は現温水プールのある恋路となっているが、西柳の市民体育館の方が鉄道バスの面において適切ではないか。

答 新施設の建設費が29億円、設計費・工事管理費が2億円、駐車場等の付帯工事費が5千万円、現温水プールの解体費用は1億8千万円、合計33億3千万円の見通しである。参考として現温水プールの修繕費は2億4千万円、維持管理費にあたる指定管理料は平成31年度で8千万円となっている。ランニングコスト及び集客見込みについてはまだ計算できていない。立地については恋路が適切と考えている。



渡辺 敏之

(日本共産党)

中学校での部活動を地域に移行させることについて

問 これまで部活動を中学校でやることは、当たり前のことであったが、国が突然「教員の働き方改革」として、部活動の地域移行の方針を打ち出した。これにより、保護者等からは、疑問や不安の声が出ている。地域移行後も、「部活は教育の一環である」ことを明確にし、その受皿づくりと運営に、行政が責任を持つべきと考えるがどうか。

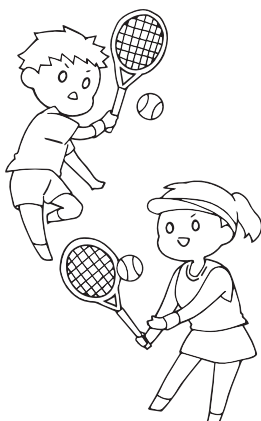
答 部活動の地域移行は、教員の働き方改革の一環であるが、部活動が中学校教育の一環であることに変わりはない。指導者の安定的な確保や、活動場所と備品等の確保、送迎対策、必要な経費をどうするかといったことについて、今後検討していく。

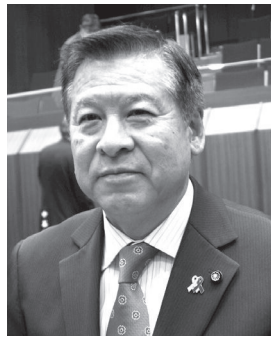
「住民こそ政治の主人公」 市民が納得できる行政の運営を

タブレットを多用したICT教育について

問 5年程前から、1人1台のタブレットが貸与され、学校の授業でも多用されている。しかし、数年前に東北大学と仙台市教育委員会との共同研究で、「子どもの脳に与える影響は大」との結果が発表されており、最近ではITの先進国とされるスウェーデンで「児童の読解力が低下した」との理由で、デジタル教科書から紙の教科書に戻したとの報道もある。子どもたちの将来を考え、安易なIT活用は見直すべきではないか。

答 子どもたちの意見交換や発表の質の向上の面などにおいて、個に応じた効果的な指導ができており、「勉強に役立つ」と実感する子どもが増加している。適切な利用については、家庭に呼びかけている。





柳瀬 秀明

(公明党)

下松市の人口増への取組について

問 本市人口は、令和5年3月末には5万7千人を切り、減少傾向となったことから、人口減少対策の集中強化指針を策定し、人口増への集中的取組を進めている。そこで本市の若者の流出を抑制し、本市への移住促進につながる取組として、奨学金返還支援事業、保育士等就労促進給付事業、結婚新生活支援事業の導入について問う。

答 本市の課題として、若い世代の定住促進、特に若い女性の定着、還流が重要であると認識している。企業誘致や就業、移住、子育て支援など、社会増につながる人口減少対策集中強化プランの検討を進めており、議員提案の制度・事業についても、他市の事例を参考に、調査研究していく。

窓口での軟骨伝導イヤホン活用について

問 高齢者や難聴を抱える方の中には、窓口で会話する際、「マスクやパーテーションなどで聞こえづらく、大事な話がしづらい」といった声もある。現在、窓口には耳マークを表示しており、筆談等に対応する方法もあるが、他市でも採用している軟骨伝導イヤホンを導入し、聞こえづらさを抱える方への窓口対応を拡充してはいかがか。

答 現在窓口では、耳マークの指差しで、職員が筆談で対応しており、その他にも集音拡声器等の補助具も窓口を設置している。議員提案の耳付近を振動させて音を伝える軟骨伝導イヤホンについては、有効な情報伝達手段であると考えるので、今後導入に向けて検討していく。



高齢者や障害者への情報の環境整備について

古代からの天然の良港の今後の動向は？

問 (1) 平成23年に徳山下松港が国から国際バルク戦略港湾に選定されて12年が経過している。当初の計画では、本年度下松港の棧橋工事を完了予定であったが、工期の延長が発表された。現状と今後の展開について問う。

(2) 歴史的には、下松は古代から天然の良港があり、発展してきたことが考察されるが、これをシティプロモーションにつなげてはどうか。

答 (1) 国は平成28年に徳山下松港国際物流ターミナル整備事業を直轄事業として採択した。完了年度は令和5年度とされていたが、徳山下松港全体としては、令和10年度へ工期が延伸することとなった。引き続き、徳山下松港全ての関連港湾整備事業が円滑に進捗し、供用開始後は海上



中村 隆征

(新生クラブ)

徳山下松港国際物流ターミナル整備事業の工期延長について

旧花岡保育園跡地利用に関する今後の対応について

問 旧花岡保育園の跡地利用については、3月13日に関連地区12団体から要望書が提出されている。これに対し、地元への回答書も提出されているが、改めて早急な解体と撤去が必要と考え、市の方針を問う。

答 旧花岡保育園については、建物の老朽化や耐震性がないうことから解体することとしており、今年度は解体に向けたアスベスト調査を実施しているところである。今後については、調査結果を踏まえ、早期解体工事に向けて準備を進めていく考えである。跡地については、地元の要望を踏まえ、当面、隣接する花岡公民館の駐車場としての利用を考えている。

輸送コスト削減等事業効果が早期に発現されるよう国に要望したい。
(2) 古代から受け継がれ、今なお進化を続ける下松の港に誇りを持ち、シティプロモーションにつなげていきたいと考えている。



森 良介
(新生クラブ)

地域包括ケアシステム ネットワークの連携・強化

問 地域包括ケアシステムにおいて、「可能な限り住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができる」という観点から、訪問看護や訪問診療、看取りに応じられるネットワークの連携・強化が必要であると考えます。連携は取れているか。

答 地域包括ケアシステムの構築においては、医療・介護・予防・住まい・生活支援等が一体的に提供される仕組みづくりが求められている。本市では、医療・介護の連携を推進するため、関係団体の協力のもと協議を重ね、多職種による勉強会等の取組を行い、顔の見える関係づくりをはじめとしたネットワークの強化に努めているところである。

地域包括ケアシステム構築について 高齢者等世帯に対するごみ出し支援について

2025年を前にごみ出し支援問題をどう考えるか

問 2025年問題の中には、高齢者等のごみ出し問題も含まれている。高齢者等世帯が安心して自分らしい暮らしが続けられるように、地域づくりを展開する必要がある。本市として、増加する高齢者等世帯へのごみ出し支援の必要性、重要性をどう考え、2025年をめぐりに、どうなっていることが理想と考えるか。持続可能な支援を行うには、特定財源や一般財源で、市が手掛けていくことが円滑だと考えるが、いかがか。

答 本市の高齢者等世帯へのごみ出し支援としては、65歳以上、または、障害のある方のみで構成される世帯を対象に、有料で大型ごみの戸別収集を行っている。一部の地域で実施したアンケート等においても「現時点では親族や在宅福祉サービスにより、ごみ出しが可能であるが、将来的には不安がある」との回答がいくつか寄せられており、今後も高齢化が進む中、ごみ出し支援の体制づくりは、近い将来の行政課題であると認識している。引き続き、高齢者等世帯が安心して自宅で生活できるよう、他市の事例も参考にしながら福祉サービスや地域との連携等、本市の実情に合った支援の在り方を検討する。



磯部 孝義
(新生クラブ)

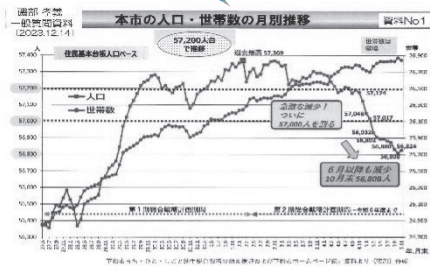
「未来へつなぐ」 次年度以降の事業展開

問 (1)4月に市長選があるため「骨格予算」となる令和6年度の予算編成の基本方針を問う。(2)人口減少対策集中強化プランの展開状況を問う。(3)公共施設マネジメントの推進(マネジメント基本方針に沿った全体調整等)状況を問う。(4)子育て環境の整備や経済的支援の充実(子ども未来部新設後の進化や今後の重要ポイント等)の動きを問う。(5)市制施行85周年事業の考え方を問う。

答 (1)義務的な経費を中心とする骨格予算となるが、次世代に確実につなげていくための編成としている。人口減少による市税への影響が見通せない中、電気ガス料金や建設に係る資材・労務費等の高騰が予測され経費の負担が増加する見込みで、今以上に厳しいと考えている。

古(いにしえ)から今へ とともに創る未来を 「温故創新」

世帯数は増え人口が減少している



人口・世帯数の月別推移のグラフ

(2)全庁的な調整会議での検討をもとに地域創生本部で概要を承認した。社会増につなげることを基本方針として、企業誘致、就業支援、移住支援、子育て環境整備、市街地整備の取組項目を設定し、予算内容を検討している。

(3)質(安全性の確保)・量(統廃合や複合化)・コスト(中長期的な維持改修経費把握)・まちづくりの視点から総量の適正化や施設の長寿命化とトータルコストの平準化に取組むこととしている。

(4)母子保健と児童福祉の一体的な相談支援や、子育て環境の整備を進めてきた。次年度以降は国の施策に対応するとともに、子ども医療費助成制度の拡充や待機児童対策等、子育て支援の更なる充実に取組む。(5)「ものづくりのまち」「歴史とロマンのまち」「子どもシビックプライド醸成」につながる事業を「オール下松」で展開したい。

行政視察報告

令和5年度の各常任委員会の行政視察について掲載します。
詳しい内容については、3月に行われる行政報告会で報告されます。

※報告後、ホームページにも掲載予定です。



企画総務委員会

- 11月6日(月)
「地域交流施設「せきてらす」について」
(岐阜県関市)
- 11月7日(火)
「地域公共交通について」(愛知県知多市)



派遣委員

- 委員長 堀本 浩司 ● 副委員長 磯部 孝義 ● 委員 近藤 康夫 ● 委員 田上 茂好
- 委員 松尾 一生 ● 委員 森 良介 ● 委員 山根 栄子

建設環境委員会

- 11月7日(火)
「官民連携によるマイクロ水力発電設備の導入について」(奈良県香芝市)
- 11月8日(水)
「ふれあいサポート収集について」
(大阪府堺市)

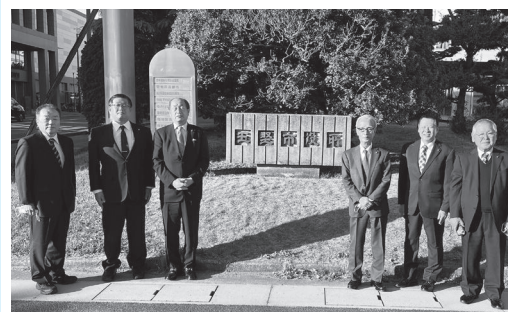


派遣委員

- 委員長 永田 憲男 ● 副委員長 藤井 洋 ● 委員 金藤 哲夫
- 委員 斉藤マリ子 ● 委員 村田 丈生 ● 委員 守田 文美

福祉教育委員会

- 11月8日(水)
「特別支援教育事業について」(岡山県玉野市)
- 11月9日(木)
「部活動の地域移行について」(兵庫県播磨町)



派遣委員

- 委員長 浅本 輝明 ● 副委員長 中谷 司朗 ● 委員 中村 隆征
- 委員 三浦 徹也 ● 委員 柳瀬 秀明 ● 委員 渡辺 敏之

職場体験を受け入れました

11月16日(木)到下松中学校の生徒2名が職場体験に来ました。
議場でカメラやマイクの操作、模擬議会の体験をし、最後に議員と意見交換をしました。

議場体験後
議員と意見交換
しました



議場で市長答弁
を模擬体験
しました



今後の議会の予定

2月

- 14日(水) …… 本会議(初日)
- 15日(木) …… 委員会(5年度審査)
- 19日(月) …… 本会議
- 21~26日 …… 一般質問
- 28~29日 …… 委員会(6年度審査)

3月

- 4~12日 …… 委員会(6年度審査)
- 22日(金) …… 本会議(最終日)



※正式な日程は議会運営委員会で決定しますので、変更になる場合があります。

編集後記



コロナの感染予防のため、マスクは欠かせないものでした。しかし、マスク越しでは意思疎通が難しいことを実感された方は少なくないと思います。率直に意見を交換することを抜きには、信頼関係は維持できません。

市民のみなさんの声や願いに応える政治や行政、議会の運営のために、この議会だよりについても、皆さんの率直なご意見をお聞かせください。

(としゆき)

広報広聴委員会

委員長	山根 栄子
副委員長	柳瀬 秀明
委員	木原 愛子
〃	藤井 洋
〃	三浦 徹也
〃	渡辺 敏之

(五十音順)

表紙の写真

下松高校から表紙写真をいただきました。下松高校美術部による笠戸島家族旅行村のウォールアート制作の様子です。記念写真にぴったりのフォトスポットになりました！